令和５年度　江戸川区立西葛西中学校　学校関係者評価　年度当初・中間報告書

学校教育目標	・心身ともに健康でたくましくがんばりぬく生徒 ・よく学び考えて実践する生徒　　・規律を守り責任を果たす生徒 ・思いやりがあり社会に貢献できる生徒	目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像	＜学校＞安心して登校でき（いじめなし）、満足して下校できる学校（成就感・達成感あり） ＜生徒＞何事に対しても一生懸命に取り組み、基礎・基本を身に付けるため授業を大切にする生徒 ＜教師＞一歩先にチャレンジ（前例踏襲ではなく、一つ工夫を）
前年度までの学校経営上の成果と課題	＜成果＞・新型コロナウィルス感染防止対策を万全にし、教育活動を可能な限りコロナ前に戻すように努めた。 ・学校公開・運動会・学芸発表会・合唱コンクールや林間学校・修学旅行等の行事を実施することができ、保護者・地域にも公開する機会を増やした。 ＜課題＞・共生社会の実現に向けた教育の推進　　・教員のICT活用能力の向上とICT機器を活用した授業の推進 ・体力の向上		

教育委員会重点課題	＜取組項目＞　・評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価			学校関係者評価		年度末に向けた改善策
				取組	成果	成果と課題	評価	コメント	
学力の向上	＜学力の向上＞ ・授業改善の推進、学習の基盤となる基礎・基本の確実な習得、家庭学習習慣に対しての学校の組織的な対応による取組の実施・充実	・「誰一人取り残さないための学力向上アクションプラン」を実践する。 ・全国学力調査等の結果を分析し、授業改善に生かす。	・アクションプランの各教科・各学年への周知を徹底し、1学期より取組をスタートする。 ・調査の結果から生徒の学力の強みを伸ばし、弱みを補強する取組を各教科で実践する。						
	＜読書科の更なる充実＞ ・読書を通じた探究的な学習の実施・充実	・朝読書を実施する。 ・探究的な学習において、資料の収集の仕方や記録の取り方、自己の考えをまとめ表現する方法を指導する。 ・教科等の学習で図書館を利用する。 ・ビブリオバトル等の取組	・朝読書→毎日 ・各学年の宿泊・旅行的行事等の際に学校図書館を利用した探究的な学習を行う。 ・教科等の学習で年1回以上は図書室で授業を行う。 ・週1回のボランティア及び西葛西図書館職員による整備 ・夏休み明けに本に関する取組を実施する。						
体力の向上	＜運動意欲や基礎体力の向上＞	・スポーツテストの結果を踏まえて、強い点は伸ばし、弱い点を補う運動を保健体育の授業及び運動部活動に取り入れる。 ・生徒が自らの体力向上を意識して主体的に運動に取り組めるような授業及び部活動等を実施する。	・毎時間の保健体育の授業の始めに各学年共通した補強運動を実施する。 ・スポーツテストの結果を生徒自身が理解し、自ら体力向上の目標を立てる。 ・毎時間ペアやグループ活動を取り入れ、生徒が主体的に取り組む授業を行う。						
共生社会の実現に向けた教育の推進	＜特別支援教育の推進＞ ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の実施・充実 ・エンカレッジルームの活用促進 ・副籍交流、交流及び共同学習の実施・充実	・授業及び学級指導においてユニバーサルデザインを取り入れた実践を行う。 ・不登校生徒や適応障害のある生徒の別室登校及び居場所としてエンカレッジルームを活用する。	・全学級で実施する。 ・ステップサポーター及び教員の見守り態勢を整え、別室登校の回数を増やしていく。						
子どもたちの健全育成	＜子どもたちの健全育成に向けた取組＞ ・不登校対策の実施・充実 ・教育相談の強化 ・hypaer−QUの活用	・不登校の未然防止 ・いじめ防止のための取組強化（道徳授業、人権教育プログラムの活用） ・「hyper−QU」の結果を生かし学級における好ましい人間関係を構築する。	・不登校傾向の生徒との関わりを増やす。週1回以上家庭との連絡を取る。 ・いじめや人権に関する授業を学期に1回以上実施する。 ・6月に実施する「hyper−QU」の結果を分析し、学級指導に生かす。						
地域に広く開かれた学校（園）の実現	＜自校（園）の取組の積極的な発信＞ ・学校（園）ホームページの充実等 ・学校（園）公開の実施・充実	・学校だよりを始めとする各種たより、学校ホームページ、一人一台端末等を活用して、保護者・地域に積極的に教育活動を発信する。 ・新型コロナウィルス感染防止対策を徹底し、教育活動の保護者・地域への公開を推進する。	・年4回土曜公開授業を行う。 ・学校だよりは月1回、学年だよりは週1回発行し、学校ホームページは毎週更新する。						
	＜学校関係者評価の充実＞ ・教育活動の改善・充実に向けた学校関係者評価の実施	・教育活動に関するアンケート調査の実施 ・学校評議員の来校推進	・学校評議員、保護者への教育活動に関するアンケート調査の実施（12月） ・生徒への授業アンケートの実施（12月） ・学校公開・学校行事等への学校評議員・地域住民の積極的な招待 ・学校評議員会の開催→年3回に増やす						
特色ある教育の展開	ボランティア活動の活性化	・区及び地域の各種ボランティア活動への参加 ・生徒会を中心としたユニセフの活動への参加	・自転車盗ゼロ作戦やジュニア訪問員等のボランティア活動への生徒の参加を促進する。 ・ユニセフ募金等の活動に参加する。						